

平成 23 年度環境工学委員会研究ワークショップ

「低炭素・国際展開に対応する水環境管理戦略」

(1)低炭素社会に貢献する新しい排水処理システムの研究」

地球温暖化は水環境管理に多様かつ多大な影響を及ぼすとともに、水環境管理側にも地球温暖化防止への対策が求められている。近年、低炭素社会・人口減少に対応したわが国の都市インフラの創生方策が問われているとともに、アジア・アフリカの経済成長・都市化に対するわが国の環境貢献も期待されている。このような多様な課題を同時に考慮し、総合化しなければ、新しい時代における高度な水環境管理は不可能である。環境工学委員会は、水環境や都市環境衛生に関連する多様な研究者の集団である。その知を結集して、個別の独創的・先駆的な低炭素環境保全技術を開発するとともに、その成果を地球温暖化・人口減少社会または国際展開に対応する水環境管理の在り方という観点から総合化し、新しい総合技術戦略を検討している。

今回は重点課題に対する第1回ワークショップとして、低炭素社会の構築に向けて、温室効果ガスの削減に貢献できる新しい都市環境システムの構築や低炭素型環境保全技術の開発に関する研究情報を交流するとともに、今後の研究展開を討論するために企画したものである。ご関心のある方は是非ご出席ください。

●主催 土木学会（担当 環境工学委員会）

●日時 平成24年3月22日（木） 13:30～16:30

●場所 土木学会講堂（2F）

●定員 80名（先着順）

●参加料 無料

●プログラム

13:30～13:40 委員長挨拶（東北大学大学院工学研究科 教授 大村達夫）

13:40～14:10 嫌気性 MBR による有機性排水の省エネルギー処理
（東北大学大学院環境科学研究科 准教授 李玉友）

14:10～14:40 低濃度産業排水処理の省エネ化（無加温メタン発酵技術の開発）
（国立環境研究所 主任研究員 珠坪一晃）

14:40～15:10 省エネルギー型重金属含有廃水処理
（大同大学工学部都市環境デザイン学科 教授 堀内将人）

15:10～15:40 各種下水処理方式におけるエネルギー消費量および温室効果ガス排出量の比較評価
（大阪大学大学院工学研究科 准教授 惣田 訓）

15:40～16:10 微生物の有機物一時貯蔵能力を利用した下水処理エネルギー効率の改善
（東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授 佐藤弘泰）

16:10～16:30 総括討論、幹事長（東北大学大学院工学研究科 教授 西村修）

●申込方法

土木学会ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) より専用フォームにてお申込下さい。申込みが完了すると確認メールが届きます。そのメールが参加券になりますので、印刷して当日ご持参下さい。

●申込締切 平成 24年3月20日(火)

定員に達した場合には受付を終了致しますのでご了解ください。

●問い合わせ

ワークショップの内容に関して

土木学会環境システム委員会 当ワークショップ担当

東北大学大学院環境科学研究科 李 玉友 (yyli@ep11.civil.tohoku.ac.jp) 宛

参加申込に関して

土木学会研究事業課 (行事担当: 佐藤)

TEL 03-3355-3559/FAX 03-5379-2769

住 所 〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目(外濠公園内)

●CPD: このワークショップは建設系CPD協議会の認定プログラムです。

土木学会 アクセス案内

- JR「四ツ谷」駅の四ツ谷口より徒歩3分
- 地下鉄南北線「四ツ谷」駅の3番出口より徒歩3分
- 地下鉄丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩5分

地図案内

